

## メコンオオナマズにおける絶食を伴う季節的摂餌周期

○池谷幸樹・波多野順・谷村俊介・堀由紀子（岐阜県世界淡水魚園水族館）・久米学（岐阜経済大学）

メコンオオナマズ (*Pangasianodon gigas*) は、メコン川の固有種であり、ワシントン条約付属書 I に指定され、IUCN のレッドリストにおいて絶滅危惧 IA 類に掲載されている。本研究では、恒常条件の水槽飼育下において 2004 年 6 月 18 日から 2010 年 6 月 17 日までの 6 年間にわたり、本種 5 個体の摂餌行動を観察した。高速フーリエ変換 (FFT) 解析により摂餌周期のパターンを抽出した結果、5 個体中 4 個体で約 365 日の周期パターンが確認された。また、最長で 121 日（範囲：20-121 日）にもわたる絶食期間が確認された。これらの摂餌・絶食のパターンはタイ国での乾季・雨季の周期に同調し、それは餌となるシオグサ (*Cladophora* spp.) の出現周期とも一致した。したがって、本研究により検出された季節的摂餌周期はメコン川での有効餌資源量に起因しており、内因性の体内時計に制御されていると推察された。